

## 現広島FMP開発事業用地の新たな利活用に係る事業実施計画書(案)について

## 1 趣旨

現広島FMP開発事業用地の新たな利活用について、9月29日(金)付けで、事業予定者の代表法人の(株)トムスから、事業実施計画書(案)及び構成員変更の申出書が提出された。

## 2 これまでの経緯

令和3年7月5日	事業提案募集開始
令和4年1月13日	(株)トムスを代表法人、広島トヨペット(株)を構成員とする事業者を事業予定者として選定
令和4年8月30日	構成員変更の公表 (広島トヨペット(株)の辞退、マツダ(株)・(株)広島マツダ・(株)バルコム追加)
令和4年10月4日	基本協定の締結
令和5年9月29日	事業予定者からの事業実施計画書(案)及び構成員変更の申出書の提出

## 3 内容

## (1) 事業実施計画書(案)

次の事業コンセプトのもと、初期投資総額約84億円規模の整備を行い、年間来場者数約200万人を目指した集客施設を令和9年1月以降に開業する。

- 事業コンセプト ～アジア圏随一の「モビリティ・エンターテインメントの聖地」
  - ・各顧客層に向けた”ここでしかできない体験”を用意し、エンタメの聖地を作る
  - ・立地を活かし観光名所化し、国内外から観光客を呼び込み、地元経済に寄与する
  - ・観光客、地元住民、同好の士が集い、新たなコミュニティー創出の場とする
  - ・モビリティ、地域社会のあるべき姿を模索する、未来の実験場とする

## (2) 構成員変更について

## ① 変更の概要

マツダ(株)が辞退し、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社を新たな構成員として追加する構成員変更の申出書が提出された。

## [変更後の構成員]

代表法人 (株)トムス

構成員 (株)広島マツダ、(株)バルコム、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社

## ② マツダ辞退の理由

- 昨年8月の本事業参画後、北米市場をはじめとした各国の規制強化やカーボンニュートラルへの対応等の外部環境変化が当初の想定を上回るスピードで進行しており、先行きが不透明な環境下において、経営資源をこれらの対応に集中して投入する必要がある。
- 但し、応援企業の1社として、モビリティを核とした集客に繋がるようなコンテンツ等の提案、イベント招致等を通じて、本事業を応援していく。

## 4 今後の対応

- 県として、次の観点などで、外部有識者の意見を聴いた上で審査を行い、事業実施計画(案)の承認の可否を決定する。
- なお、マツダ(株)の辞退の可否については、事業実施計画書(案)の審査と合わせて判断する。

- ・事業コンセプトとの整合性
- ・事業の実現可能性、継続性(スケジュールの妥当性、資金調達、事業計画と収支計画の整合等)
- ・にぎわいの創出、周辺施設との親和性(コンテンツの内容等)
- ・広島県経済への貢献(集客数、投資規模等)
- ・環境・景観への配慮 など

- 基本協定で定める承認期限である令和7年4月14日までの間で、できるだけ早い時期に決定する。